

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和7年12月20日(土)実施 地域学校協働活動

かみまの小学校こども食堂

「かみまの小学校こども食堂」の概要

参加者：上真野小学校児童 JAスタッフ
地域の方々 保護者 教職員

- ・オープニングセレモニー
- ・メニューについてのクイズ
- ・総合的な学習の時間の成果発表
- ・校歌演奏 ・感想発表 等

【今回使用した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】



子どもたちの願いから実現しました

JA ふくしま未来そうま地区では、令和6年12月21日に、南相馬市鹿島区の旧上真野支店の建物を活用して、未来館かみまの「みんなの食堂」をオープンしました。同地区初の子ども食堂として、子どもたちや地域の方々の居場所作りと、国消国産、米の普及拡大を広めるため、地元の旬の食材を使用し低価格で安心安全な食事の提供に努めています。

そこに今回、学区にある上真野小学校の5・6年生の児童が、普段からお世話になっている地域の方々に感謝を伝えたいという気持ちから、同所に「かみまの小学校こども食堂」を開きました。地域学校協働活動を通して収穫したもち米を活用して、地域の方々に御馳走したいという願いが出发点です。

当日、イベントの中心である5・6年生の児童は、いつもはお世話になっている「みんなの食堂」のスタッフと協力して、あんこ餅や団子、豚汁、おにぎりといったメニューを朝早くから準備しました。具材を切ったり盛り付けたりする作業をてきぱきと行う姿からは、イベントにける意気込みが伝わってきます。

学びが伝わる空間

最高の天候の下、屋外での餅つきも、子どもたちと地域の方々との協力によって行われました。上真野小学校の餅つきが復活してから4年目ということで、子どもたちも杵の使い方に慣れており、餅をこねてくれる地域の皆さんとの息もぴったりで、もち米が見る見るうちに餅へと姿を変えていきました。

室内での会食時には、メニューのあんこ餅や塩おにぎり、豚汁に関するクイズもあり、考えながら食事をすることができました。さらに、総合的な学習の時間に学んだことについて6年生からの発表もありました。学校や地区の歴史、相馬野馬追など、取材に基づいた内容を伝えてくれました。地域の人も初めて知ることがたくさんあり、子どもたちから多くのことを学んでいました。

発表の最後には、器楽部の児童による校歌の演奏もありました。小学生の頃にバイオリンやコントラバスを弾いていた保護者も多くおり、感慨もひとしおだったようです。

地域学校協働活動の可能性



上真野小学校で、地域学校協働活動としての田植えが行われるようになって4年目です。毎年同じ田植えの活動ですが、その内容は年々ブラッシュアップされています。一番の変化は、受け身で活動していた子ども達が、今回のこども食堂の開催のように、自ら考え、進んで活動できるようになったことです。また、地域の大人たちが教えるというだけでなく、大人たちも子ども達から多くのことを学ぶことができるということです。

地域学校協働活動を通した、地域の復興や課題解決に参画する学びを続けていけば、郷土への愛着や誇りを培い、地域に対する当事者意識を育むことができる可能性を見ることができました。